

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSEA）の 活動内容について

令和7年12月

スマート農業イノベーション推進会議事務局

スマート農業イノベーション推進会議 (IPCSA) について

- **スマート農業技術活用促進法**及び基本方針に基づき、**スマート農業技術の開発と普及の好循環**の形成を推進していくため、**農業者が中心となって運営する多様なプレイヤーが参画したスマート農業イノベーション推進会議 (IPCSA) ※を設置。**
※IPCSA : Innovation Promotion Conference for Smart Agriculture
- 同会議において、生産と開発の連携、情報の収集・発信・共有、関係者間のマッチング支援、人材育成等を通じ、**コミュニティ形成を促進**することとしており、**令和7年度より本格的に活動を開始。**

■ IPCSAの構成員



コミュニティ形成の推進を支援

■ IPCSAの運営

○ 運営委員

- (株) 浅井農園 浅井 雄一郎 代表取締役 **【運営委員長】**
- (株) アグリーンハート 佐藤 拓郎 代表取締役
- (株) 鈴生 鈴木 貴博 代表取締役社長
- (株) ファームノートデーリィプラットフォーム 平 勇人代表取締役
- (株) 日本農業 内藤 祥平 代表取締役CEO
- (株) 三浦農場 三浦 尚史 代表取締役
- (株) 日本総合研究所創発戦略センター 三輪 泰史 チーフスペシャリスト

○ 事務局

農水省技術政策室及び
農研機構スマート農業施設供用推進プロジェクト室

詳細及び
入会は[こちら](#)



※会員数：1,374 (R7.12.4時点)

IPCSA 設立総会の開催 (R7.6.27)

- 農業者、民間企業、地方公共団体、大学、研究機関等の約1000名の多様なプレーヤーが参画。
- スマート農業の推進に意欲的な農業者、スタートアップ、有識者等による講演及びパネルディスカッション等を実施し、**スマート農業技術の活用に向けた参加者の機運を醸成。**
- 参加者との意見交換を通じて、スマート農業技術を活用して「儲かる農業」を目指すこと、**世界をリードする優良な成果や技術を 創出していくこと等、IPCSAの役割や活動の重要性について共通認識を深めた。**

設立総会当日の様子

○政務官挨拶



山本政務官

○事務局挨拶



農研機構
久間理事長

○決意表明



浅井運営委員長

○IPCSA活動紹介



農水省
齊賀技術政策室長

○基調講演



女子栄養大学
中嶋教授

○スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定者の取組紹介



(株)おしの農場
押野専務

○閉会挨拶



農水省
堺田技術総括審議官



(株)Root
岸代表

○パネルディスカッション



(左から三輪氏、浅井氏、鈴木氏、平氏、内藤氏、押野氏、岸氏)

参加者からの主な意見

- スマート農業を導入することを目的としてはいけない。「儲かる農業」を目指し、経営の基盤安定や次世代への継承にとって**スマート農業が必要であるという共通認識の下でIPCSAの活動が推進されることを期待したい。**
- **インプットをいかに少なくして、アウトプットを最大化できるかがポイント。**地域ごとに、**その作物の一番の理想形を示すことができるかが重要になる。**
- 特定の品目や経営、中山間地など、マーケットが小さく**単独で解決できない課題でも、IPCSAを通じて、他との共通点を見出すことができるのではないかと。**
- データ活用などのサービス支援の展開では、熟練者が新規就農者かなど**利用者の属性によってサービスの設計が変わってくる。**そこで**差別化していくことが必要はないかと。**
- **世界から評価される成果や技術を生み出し、グローバルな活動の展開に期待したい。**
- とてもワクワクしている。IPCSAの中で、先進的な農業者等から、**これまでの課題やこれからの可能性などをもっと学びたい。** など

○交流会



(参加者間の交流)



(スマートグラス実演会)

活動内容①（情報の収集・共有・発信）

- ① 専用サイトを通じて、スマート農業技術に関する情報を一元的に管理。
- ② 国内外の研究開発・実用化の動向、技術の紹介、全国各地のイベント・研修スケジュール、最新トピックや優良事例等をわかりやすく情報発信。

専用サイト

調査

- スマート農業技術の国内外の開発・実用化の動向（技術スペック、実用化・普及に至った要因、環境整備方策（情報セキュリティ、人材育成等）等）に関する調査を実施。
- スマート農業技術の導入による経営効果（導入前後の経営収支比較、新たな栽培方式への転換状況等）に関する調査を実施。

イベント・研修

- 全国各地のスマート農業関連のイベントや研修等を掲載。

イベント情報

2025年10月1日（水）～3日（金） 10:00～16:00
IPCSA マatchingイベント
スマート農業タッチ&トライ2025@豊砂公園

2025年10月1日～10月3日 マatchingイベント

2025年8月22日～9月30日 その他
【第10データ活用アワード】～優勝賞金300万！農林水産×街風デザイン「ビジネスアイデア」を求む！～

IPCSA マatchingイベント その他

スマート農業タッチ&トライ2025@豊砂公園

開催日	2025年10月1日（水）～3日（金） 10:00～16:00
開催場所	豊砂公園（イオンモール幕張新都心内） https://space-media.aeonmall.com/spaces/1704/event
参加料	無料
お問い合わせ先	IPCSA（スマート農業イノベーション推進会議）事務局 メール：jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com 電話：050-1724-2916

広報誌（スマート農業インフォメーション）

- スマート農業技術に係るトピックや優良事例、スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定の実績等を発信。

動画

- IPCSAの機能やスマート農業技術の紹介、先進的な農業者へのインタビュー、イベントの様子等を配信。

技術情報

- 会員プロフィールページを通じて、スマート農業技術や関連サービスを紹介。

お問い合わせ



基本情報
法人・団体・機関名：〇〇株式会社
ウェブサイト：[https://www.](https://www.)
所在地：埼玉県〇〇市
業種：機械メーカー

製品・サービス名

製品・サービス名：自動操舵トラクター
製品・サービスの概要：GPSとRTK-GNSSを高精度で連携させ、圃場内での自動直進・旋回・作業機制御を可能にする次世代型トラクターです。
対象営農類型：水田作、畑作
製品・サービスの価格：月額利用料 5,000円～（圃場規模・機能により変動）、初期導入費用 50,000円。
参照リンク：[https://www.](https://www.)

実績等
講師実績あり

スマート農業技術
開発しているスマート農業技術：
自動走行トラクター
営農類型：水田作、畑作

事業概要
取組概要：
「持続可能な農業の未来を創造する」をビジョンに掲げ、IoT技術を駆使したスマ農機および営農管理システムの開発・提供を行っています。

活動内容②（関係者間のマッチング）

- ① 既存のイベントと連携し、**会員のニーズ等を踏まえたマッチングイベントを開催。**
- ② 会員プロフィールや事業提案が掲載可能な専用サイトを通じて、**会員間の自発的なコミュニティ形成を促進。**

マッチングイベント

- 日本最大級の農業分野の展示会「農業WEEK」と連携し、スマート農業技術の操作体験ができる「スマート農業タッチ&トライ 2025@豊砂公園」を開催。
- 「アグリビジネス創出フェア」や各地で開催される「スマート農業推進フォーラム」等のイベントとも連携。

2025年 10月1日(水) ~3日(金) 10:00~16:00 @豊砂公園

スマート農業 タッチ&トライ

最先端の技術を搭載したスマート農業機械が豊砂公園に集結！
目面前的な実演や、操作体験、出展者による説明・相談対応を通じ、農業の現場に革新をもたらす技術をより身近に知っていただくことができます。
見て、触って、動かして、スマート農業を体験しませんか。

お問合せ：スマート農業イノベーション推進会議(IPCSA)事務局 (農研機構・農林水産省-PwCコンサルティング合同会社) メール: jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com TEL : 050-1724-2916

出展内容	
井間農機株式会社 おなじみPwCのロボット田植え機(有人監視型)ロボット田植え機「おなじみPwC」において農人で操作体験を行います。種まきから収穫まで実演します。	株式会社笑農和 スマート水管理「おなじみPwC」水田の水位や水温を計測し、自動で灌漑を行い、水管理の効率化と節水にも実演します。
有限会社グリーンサム 環境負荷低減や省エネに貢献し、省コストを実現するスマート農業技術を紹介いたします。	株式会社スリー・エス 農業用ドローン「LIGHT-AG」の活用実演。GPS/RTK-GNSSによる高精度な自動飛行の実演を行います。安心の国内生産、アフターサポート体制も万全です。
千原市 千原市の農産物の産地として、市内企業によるスマート農業技術を紹介いたします。	千原市・グリーン株式会社 e-kakashi(イカサシ)によるスマート農業の実演。AIが分析した結果を提示する「e-kakashi」の活用。科学的データに基づいた農作の効率化と省力化を実現します。
千原市・株式会社リノ(サ)フロンティア 農業用ドローン「X1000」の活用実演。省コスト、省エネルギー、省スペースのスマートドローンによる農作の効率化と省力化を実現します。	千原市・東京ドローンプラス株式会社 ヘリオスアグリ / TEUSシリーズ 農と空のスマートドローンによる農作の効率化と省力化を実現します。
株式会社Doog-スズキ株式会社 サウザークロス Doogのサウザークロス搭載の自動収穫ロボット「サウザークロス」の実演を行います。	公益社団法人 日本農業法人協会 九州独自の皮むき体験、りんごの収穫体験、2025年2月10日(日)10:00~16:00に開催する「スマート農業」イベントに出展する農産物と、連携する農業法人の取組を紹介いたします。
農研機構 農業機械研究部門 (株式会社Doog) 人への負担や自動走行可能なドローン「サウザークロス」の活用。収穫後の作業効率を向上させる「サウザークロス」などの研究成果を紹介いたします。	ハカルプラス株式会社 非破壊検査装置「センサードリフト」による土壌の検出。7秒で樹内温度・水分量を表示、樹体健康の管理をサポートいたします。
fireflake Pico Crust Board, Raspberry Pi Pico スマート農業スタートアップキット 計測・制御のシステムを自作できるIoT基盤およびキット。それで作ったスマート農業システムの開発を行います。	フィールドクロス株式会社 スマートグラス「InfoLinker3」の活用実演。GPS/RTK-GNSSによる高精度な自動飛行の実演を行います。
ヤマハ発動機株式会社 DIAPASON CS80 環境や省エネなど、多様な課題解決のためのスマート農業技術。スマート農業の推進をサポートするスマート農業技術の実演を行います。	株式会社ユニックス ユニバーズ モデルは、カメラ搭載。現場での作業状況を確認しながら、作業効率を向上させることができます。現場での作業状況を確認しながら、作業効率を向上させることができます。

専用サイト

- 会員プロフィール（取組概要、技術・サービス内容、実績・成果、マッチング希望等）や事業提案・情報提供のページを通じて、会員間の自発的な交流を促進。

お問い合わせ
<会員プロフィール>

基本情報

法人・団体・機関名：〇〇株式会社
ウェブサイト：<https://www.0000.jp>...
所在地：埼玉県〇〇市
業種：機械メーカー

スマート農業技術

開発しているスマート農業技術：
自動走行トラクター
営業類型：水田作、畑作

事業概要

取組概要：
「持続可能な農業の未来を創造する」をビジョンに掲げ、IoT技術を駆使したスマート農業および営農管理システムの開発・提供を行っています。

製品・サービス名

製品・サービス名：自動操舵トラクター
製品・サービスの概要：GPSとRTK-GNSSを高精度で連携させ、圃場内での自動直進・旋回・作業機制御を可能にする次世代型トラクターです。
対象営業類型：水田作、畑作
製品・サービスの価格：月額利用料 5,000円〜(圃場規模・機能により変動)、初期導入費用 50,000円。
参照リンク：<https://www.0000.jp>...
実績等
講師実績あり

導入コストや効果の詳細を知りたい

生産者

ステータス：公開済み
<事業提案・情報提供>

共同研究先募集！圃場貸し出します！

〇〇〇〇株式会社/〇〇〇〇部署

業種	農業法人
事業概要	青森でりんごを栽培しています。最新技術を試たく、自動草刈機や収穫ロボット等の共同研究先を募集しています。
必須スキル	圃場に合わせた機械の調整ができる方
関連資料	関連資料〇〇〇

自動収穫ロボットの試作機を現場で試したい。

研究機関

活動内容③（人材育成）

- ① スマート農業技術を使いこなし、経営改善に取り組むことができる人材を育成するため、**IPCSA独自の研修をモデル的に実施**。
- ② 専用サイトを通じて、**スマート農業に関する講師や技術指導等ができる人材を紹介**。

令和7年度企画（案）

- スマート農業技術を活用して、「持続可能な農業」の実現に資する経営改善ノウハウをテーマに企画。
- 研修内容や資料、成果等は専用サイトに共有し、全国各地の研修企画者等が参考素材として活用できるモデル的な内容とする。

【第一回】

- スマート農業技術の概況（実演、操作含む）、経営基礎を学習

【第二回】

- 個別事例の比較検証を通して、地域（自身）の経営課題を分析し、課題に応じた経営計画の作成

【第三回】

- 有識者等との多様な観点から議論を通じて、経営計画を改善

研修内容、成果等を専用サイトに公開

全国各地で効果的な研修の実施

専用サイト

- 会員プロフィールを通じて、講師や技術指導等の実績が検索でき、必要な人材を紹介。

【氏名】●●（株）
【業種】畑作、露地野菜
【取組】
農業散布サービス（ドローン）
【実績・PR】
農業支援サービス（人材供給）

サービス
事業者

【氏名】●●農園
【業種】農業法人
【取組】
水稲を栽培。年に2回産地内の生産者を集め、実習会を実施。
【実績・PR】
技術指導等

農業者

人材を紹介します！



事務局

【法人・団体名】●●
【業種】ソフトウェア事業
【取組】
営農管理システムを開発
【実績・PR】
講師実績あり

メーカー

【氏名】●●大学△研究室
【業種】大学
【取組】
AIによる画像解析技術の高度化
【実績・PR】
講師実績あり

研究者

活動内容④（共通課題の対応）

- ① スマート農業技術の活用を促進する上で対応が必要な共通課題について、**関係者で議論する場**（プラットフォーム、検討会）を設置。
- ② **農業者が先頭に立って、技術開発や普及をリード**するなど、会員が主体的に課題解決に取り組み、**IPCSA全体を活性化**。
- ③ **IPCSA運営委員の進行**の下、各プラットフォームにおける**共通課題の具体化**に向けた議論を開始。

プラットフォーム・検討会の目的

- 営農類型別・共通の課題を議論する場。活動を通じて、**農業者が先頭に立って技術開発や普及をリードする機会の創出につなげる等、農業者が主体的にIPCSAに参画し、IPCSAの各種取組を活性化**。
- 本会合の趣旨・目的に賛同する関係者を事務局が招集し実施。

実施イメージ

